

## 会議録

会議の名称		令和6年度第2回守谷市地域福祉推進委員会		
開催日時		令和7年1月27日(月) 開会:14時00分 閉会:16時30分		
開催場所		市役所 全員協議会室		
事務局(担当課)		健幸福祉部 社会福祉課		
出席者	委員	荒川委員、長谷川委員、森山委員、天内委員、山下委員、小野寺委員、澤田委員、染谷委員、大塚委員、鶴田委員、川名委員、斉藤委員、長津委員、佐藤委員 計 14 人 (欠席者：横張委員、古屋委員、永井委員 計3人)		
	その他	社会福祉協議会 高橋事務局長		
	事務局	羽田健幸福祉部長、松井社会福祉課長、中山市民協働推進課長、飯島市民協働推進課長補佐、高橋社会福祉課長補佐、北川係長 計 6 人		
公開・非公開の状況		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
公開不可の場合はその理由				
会議次第		1 開会  2 あいさつ  3 議事 (1)まちづくり協議会の現状と課題 (2)守谷市社会福祉協議会と地域活動 (3)そのほか  4 閉会		
確定年月日		会議録署名		
令和7年2月18日		委員長	山下 勝博	
		議事録署名人	澤田 康志	
			染谷 桂子	

## 1 開会(事務局)

## 2 あいさつ(山下委員長)

## 3 議事(進行:山下委員長)

### (1)まちづくり協議会の現状と課題

- ▶ 事務局(市民協働推進課)から説明
- ▶ 委員からの主な意見・質問については、下記のとおり

### 天内委員

- ・ 北守谷地区まちづくり協議会の活動について補足説明。御所ヶ丘5丁目助け愛の会においては、65歳以上の高齢者世帯等を対象に、家具の移動、車での送迎(市内に限定しない)、故障した物品の修理、庭木の伐採、粗大ごみの搬出等を実施している。庭木の伐採等については年に15~20件、粗大ごみの搬出等については最低でも月に5~6件、多い時で軽トラック3~4回分の依頼を受けている。命に関わる作業(ハチの巣の駆除等)や空き家の草木の手入れ等はお断りしている。料金については、無料だと依頼しづらいという声を受けて、1時間以内で200円、1時間以上3時間までで1,000円としている。
- ・ 子ども食堂は月1回開催し、100食程度を提供している。生活が苦しい子供たちも含めて、誰でも来てもらえるように開催している。
- ・ どこでも茶屋ぶらぶら亭、くわがた亭では公園でコーヒーを提供し、地域の交流を深めている。
- ・ 65歳以上の方を対象とした茶話会を開催しているが男性の参加者が少ないので、御所ヶ丘レストランも始めた。これについては、参加者が20名弱、男性の参加者もいる。
- ・ 公園整備事業では、芝生の点検や、公園のベンチ清掃、市への修繕依頼等をしている。

### 齊藤委員

- ・ まちづくり協議会の活動において、何故、自治会・町内会を活用しないのか。
- ・ 自治会・町内会との関係性が分かりにくい。まちづくり協議会と自治会・町内会の連携が不十分なのではないか。

### 中山市民協働推進課長

- ・ 自治会・町内会よりも大きな単位であるまちづくり協議会では、そのスケールメリットを生かし、自治会・町内会の枠を越えて、交付金を活用しながら様々な活動を行っていただいております。自治会・町内会にも参画していただいております。

- ・ まちづくり協議会と自治会・町内会では、組織の上下関係があるわけではない。地区にお住まいの個人や民生委員、学校、地元企業、自治会・町内会などがまちづくり協議会を構成し、地域の発展、課題解決のために連携しながら活動を展開していただいている。

#### 山下委員長

- ・ 自治会・町内会の会員加入率は減少傾向であり、約6割である。
- ・ それに対して、まちづくり協議会は対象地域の住民全員が対象である。
- ・ 自治会・町内会では実施が難しい活動であっても、まちづくり協議会では実施可能な場合もある。
- ・ まちづくり協議会が各自治会・町内会を繋ぐ役割をできればよいのではないか。
- ・ アイディアを出し、活動を牽引してくれる人が大事。

#### 天内委員

- ・ まちづくり協議会の前身である地域福祉活動計画実行委員会は、自治会・町内会組織とは別に結成された組織であった。その理由としては、自治会・町内会の組織は役員が1年で交代となるケースが多い。また、致し方なく役員を務めているといった方も多い。そうした状況では、自治会・町内会によるまちづくり協議会の組織運営は難しいだろうという判断によるものであった。
- ・ まちづくり協議会と自治会・町内会の現在のあり方については、私は良いと思う。

#### 小野寺委員

- ・ 北守谷地区では、まちづくり協議会、自治会・町内会のほかにも北守谷地区連絡協議会があり、組織体系が複雑である。
- ・ まちづくり協議会では、活動の拡大推進のために、自治会・町内会の方にも会議に出席いただく機会があるが、自治会・町内会からの提案等はほとんどなく、まちづくり協議会から自治会・町内会へのお願い事項が多くなる。
- ・ 自治会・町内会側からすると、まちづくり協議会の中身が分かりにくいのではないかと思う。各地区のまちづくり協議会のPRをもっとしてほしい。

#### 齊藤委員

- ・ 自治会・町内会の区長等へはまちづくり協議会の説明はしているのか。

#### 中山市民協働推進課長

- ・ 区長業務説明会において、まちづくり協議会について説明を行っている。
- ・ 各まちづくり協議会では、広報誌を作成・配布し、活動内容のPRに努めている。

#### 長津委員

- ・ 自治会・町内会は会員・非会員の区別があるが、まちづくり協議会は全市民が対象である。このことについての認識が低いので、まちづくり協議会の広報誌も自分事として捉えていない人も多いと思う。もう少しPRが必要だと思う。

#### 荒川委員

- ・ 守谷地区の区長は、まちづくり協議会の活動に協力的であるが、それ以外の市民の認知度が低く、大きな課題となっている。

#### 中山市民協働推進課長

- ・ まちづくり協議会の事務局は各地区のまちづくり協議会の中にあり、市民が事務局を担っている。
- ・ 市では人的、財政的支援を行っている。そのほか、各まちづくり協議会を集めた意見交換会や講演会を開催し、活動の活性化を支援している。
- ・ まちづくり協議会のPRについては、市も一緒に知恵を絞っていきたいと考えている。

#### 山下委員長

- ・ みずき野地区は1つの自治会に対して、1つのまちづくり協議会がある。
- ・ そうした状況で、各活動の主催や予算は自治会なのか、まちづくり協議会なのかといったことが問題になる可能性があるので、きちんと明示するようにしている。

#### 澤田委員

- ・ 自治会・町内会、まちづくり協議会の活動の判別が難しい。
- ・ まちづくり協議会でどのような活動をし、どのようにお金を使っていくのが良いのか、きちんと議論する場が少ない。もっと議論する場を増やすとともに、市がもっと管理した方が良い。
- ・ 活動内容が硬直化しないように様々な活動を企画し、会員を増やしていく必要がある。

#### 大塚委員

- ・ 資料3ページに記載されている人的支援について、市職員も支援担当職員として、土日開催の地域のイベントにも来てもらっていることはありがたい。支援担当職員の役割はどのようなものなのか。各地域から意見等は挙がってきているのか。
- ・ 資料9ページに記載されている「世代交代を見据えた新たな会員の増員」について、具体的な戦略はあるのか。庁内の施策として取り組み、工夫を行ってほしい。

### 中山市民協働推進課長

- ・ 支援担当職員の役割は、地域関係者からのご意見、ご要望を関係部署に繋ぐための連絡、調整である。支援担当職員として、市民協働推進課の職員が各地区に配置され、会議の場や市民協働推進課の窓口等で各まちづくり協議会の役員等と意見交換等を行っており、適切に支援できていると考えている。
- ・ 世代交代、会員の増員については、市とまちづくり協議会で一緒に考えていかなければいけない。市では広報もりややホームページでPRを行っている。
- ・ 世代交代を図る一つのツールとして、市民大学でまちづくり協議会のコースを開講している。そこでは、次世代の協働の担い手づくりとして、各地区のまちづくり協議会の会長に講演いただいている。
- ・ 敬老行事に参加した際、ロコミをきっかけに参加されていた方がいた。ロコミも有効な手段の一つと考えており、活動に参加されている方もロコミを広げ、活動をより活性化させてほしい。

### 小野寺委員

- ・ 市でも人材確保を専門とするグループを組織するなどの対応が必要なのではないか。

### 山下委員長

- ・ 子どもやその親世代にイベント等に来てもらい、見てもらい、参加していただくのが大事。
- ・ 福祉は多岐に渡る問題である。市でも様々な組織に横軸を通して、取組を進めていただきたい。

### 長谷川委員

- ・ 大野地区まちづくり協議会では、活動をとおして交流が深まっている。
- ・ 地域で防災組織を結成する際も、自治会・町内会からはお金を出してもらえなかったが、まちづくり協議会からお金を出してもらうことができた。
- ・ 多世代交流のイベントとして「ふれあい祭り」や「ふくし祭り」など、様々なイベントが上手くいっている。
- ・ 役員等の世代交代は課題となっている。

### 鶴田委員

- ・ 地域で行われている様々なイベントがまちづくり協議会に関係しているものなのか、一般の方はよくわからない。直接、まちづくり協議会の会員になってもらうのではなく、地域の具体的なイベントを入口として、まちづくり協議会の取組に参加いただければよいのではないか。具体的なイベントへの参加をきっかけに、まちづくり協議会の理解に繋がっていく

と思う。

- ・ まちづくり協議会のPRには、やはり広報誌が効果的だと思うので、うまく活用していくとよい。
- ・ 市民大学では、まちづくり協議会の担い手確保を目的とし、まちづくり協議会を紹介するコースもある。今年度からはまちづくり協議会を紹介するだけでなく、興味を持った方にまちづくり協議会の役員等を紹介し、繋いでいくことも試行している。各地区のまちづくり協議会も市民大学でチラシを配布するなど、上手く市民大学を活用してほしい。

#### 天内委員

- ・ 退職後、社会に貢献するにはボランティアが有効である。そうした観点から、まちづくり協議会ごとに専門の先生による講演をお願いしたい。費用はかかるが、市でも検討してほしい。

#### 中山市民協働推進課長

- ・ 市民活動支援センターにボランティア業務を集約している。市民活動支援センターに先頭に立っていただきながら、市も一緒に対応を検討していきたい。

#### 佐藤委員

- ・ 2カ月に1回程度、子供服に関するボランティアに参加しているが、現役世代は、仕事と子育てで忙しく、ボランティアへの参加は難しい。
- ・ 地域のごみ拾いのボランティアに参加した。ごみ拾い後に餅つき大会があったからである。子どもが喜ぶことと組み合わせるとボランティアへの参加者も増えるのではないか。
- ・ 入口を小さく、かつ、具体的にし、対象者意識をもってもらえるような呼びかけが効果的ではないかと思う。

## (2) 守谷市社会福祉協議会と地域活動

- ▶ 事務局(社会福祉協議会)から説明
- ▶ 委員からの主な意見・質問については、下記のとおり

#### 澤田委員

- ・ ここ2、3年は、社会福祉協議会の活動もだいぶ見える化されてきた。
- ・ 歳末たすけあい贈呈金の申請者が減っている点については、少し懸念している。

#### 小野寺委員

- ・ 民生委員として、社会福祉協議会の歳末たすけあい贈呈金の配布を手伝った。今年度は、

対象者の方に訪問し、ご不在だった場合に使用する「不在票」を社会福祉協議会で用意してくれたのがとても助かった。

- ・ まちづくり協議会の敬老行事の実行委員を務めた。敬老行事に関して、本来自分たちが行うべき作業について、市に依頼する点が多かった。市に多岐に渡り協力いただいたことは大変ありがたかった。

#### 森山委員

- ・ 社会福祉協議会の取組は何で広報しているのか。

#### 高橋事務局長

- ・ 年 4 回発行している社協だよりで広報している。社協のイベントの募集等については、市の広報もりやに掲載してもらうこともある。

### (3) その他

▶大塚委員から下記の当日配布資料について説明があった。

- ・ 令和 7 年度もりや公益活動助成金募集要項
- ・ 守谷市民活動支援センター登録団体一覧

## 4 閉会